

## 基盤研セミナー

### 呼吸器疾患臨床試験から示唆される新創薬領域

日時： 平成30年11月30日(金)午後5時～午後6時

場所： 医薬基盤・健康・栄養研究所 1階 大会議室  
(大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8)

講師： 東北大学 名誉教授

**貫和 敏博 先生**



#### 講演要旨

呼吸器疾患をどう理解するか？学生には解剖学的場としての気道系・循環系・胸腔/縦隔と病因論的に感染・炎症・腫瘍とに分け、2次元的に呼吸器病態を把握し、かつ環境(喫煙等)・加齢要因を加味するよう指導した。主として肺癌、肺線維症、肺感染症を対象として研究展開する中で、肺癌は、driver変異発見とその阻害、TCGA展開、さらに抗体製剤・免疫制御が加味され、oncologyの中でもその治療法変遷が最も激しい。

一方、肺線維症は21世紀以降、国際診断コンセンサス整備の下、臨床試験を経て2剤が上市された。しかしその作用機序は不明である。こうした呼吸器疾患臨床試験に関与する中で、間葉系細胞群が新たな創薬対象として浮上している。それは何故なのか、呼吸器疾患病理構築を基に議論したい。

**参加申込：不要**

**参加費：無料**

連絡先：感染病態制御ワクチンプロジェクト 今井 (TEL:072-641-9897)